

股関節周囲の手術における後ろ向き観察研究

京都府立医科大学整形外科では、股関節周囲の手術における術後成績関連因子を検討するための研究を行っています。本研究の実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

・ 研究の目的

股関節周囲手術を受けた患者さんの術前・術後データを詳細に解析し、術後成績に影響を及ぼす因子を明らかにすることで、患者さんごとに最適な治療方針を選択できるようにすることを目的としています。

・ 対象となる方について

1990 年 1 月 1 日から承認日までの間に、京都府立医科大学 整形外科で股関節周囲の手術を受けられた方

・ **研究期間**： 医学倫理審査委員会承認後から 2030 年 12 月 31 日

・ **情報の利用を開始する予定日**：

開始予定日:2026 年 4 月 1 日

・ 方法

当院整形外科において股関節周囲の手術を受けられた方で、診療録（カルテ）、画像データより以下の情報を取得します。研究のために追加で必要となる検査や負担はありません。術後成績と、取得した情報の関連性を分析し、股関節周囲の手術における術後成績に関連する因子を検討します。

・ 研究に用いる情報について

過去の診療録にさかのぼって、調査・解析を行います。調査項目は患者基本情報、手術時情報、身体機能評価、画像評価、術後合併症。

・ 個人情報の取り扱いについて

患者さんのカルテ情報、画像データをこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 運動器加齢制御学講座 石田雅史）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・ 情報の保存について

診療録、画像データから抽出した情報は原則としてこの研究のために使用し、結果を発表したあとは、京都府立医科大学運動器加齢制御学講座 講師 石田雅史の下、10年間保存させていた

だきます。廃棄の際には研究用の番号等を削除します。

・ **研究組織**

京都府立医科大学	運動器加齢制御学講座	講師	石田 雅史
京都府立医科大学	整形外科	学内講師	林 成樹
京都府立医科大学	整形外科	大学院生	久本 和史
京都府立医科大学	整形外科	大学院生	平田 壮史

・ **研究資金及び利益相反について**

本研究は既存の診療録・画像データを使用するため、研究資金の必要性がないと判断しております。利益相反とは、寄附金の提供を受けた特定の企業に有利なようにデータを操作する、都合の悪いデータを無視するといった、企業等との経済的な関係によって、研究の公正かつ適正な実施が損なわれるまたは損なわれているのではないかと第三者から懸念される状態をいいます。本研究の開示すべき利益相反はありません。

・ **お問い合わせ先**

患者さんのご希望があれば参加してくださった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される場合はお申し出下さい。利益相反がないように努めます。また情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方に御了承いただけない場合には研究対象としませんので、2030年9月30日までに下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

京都府立医科大学 運動器加齢制御学講座 講師 石田 雅史
京都府立医科大学 整形外科 医局 075-251-5549 平日 9:00~17:00